

新学期が始まりました。今まで図書館というと、本を借りたり、自主学習の場として活用してきたという人が多いのではないのでしょうか。

今回は、大学図書館ならではの図書館活用方法をお伝えします。

1. 図書館では、あなたが必要とする情報を探すための方法や手段をアドバイスします

自分が探したい資料が見つからない、どうやって資料を探したら良いか分からない。そんな時に、正確な書名が分からなくとも「レファレンス調査申請書」を使って、図書館司書に質問することができます。申請書は図書館カウンターに備え付けてありますし、図書館HPからも印刷することが可能です。

<昨年度 実際にあった質問内容の一部>

- 会計についての論文を探したいが、どのように検索したら良いか
- 論文とはどのように書いたら良いのか、書き方に決まりごとはあるのか
- 屋外での健康増進サービスについて書かれた本や論文はないか
- 統計資料を活用したい。具体的にどのような資料を調べたら良いか
- 企業の「ナレッジ・マネジメント」についての論文を探して欲しい 等

※いただいた質問内容によって、多少回答までお時間をいただく場合や、司書から申請者に対しより正確に質問内容を把握するためのインタビューをさせていただく場合があります。

レファレンスとは・・・図書館内外の資料を駆使して利用者の調査研究を支援する図書館サービスの一つです。

<応じることが出来ないレファレンス>

- ① 学習課題、レポート、修士論文等の回答、及び個人的判断を求められる内容
- ② 調査、研究の代行
- ③ 文献の解説、翻訳 等

2. 本学図書館に無い本や文献を他大学から借りたり、コピーすることが可能です

せっかく探した本や文献が本学図書館には無いという場合、有料で取り寄せることが可能です。これを文献複写・相互貸借といいます。

例えば、Library News Letter vol3で紹介した、論文検索データベースを利用して調べた文献が他大学に有る場合、他大学から取り寄せることができます。

「文献複写・図書相互貸借申請書」は図書館カウンターに備え付けてありますし、図書館HPからも印刷することが可能です。

～文献複写にかかる料金と取寄日数の目安～

複写料金はだいたい1ページ40～50円（モノクロコピー）。そこに本学までの郵送料金（120～140円程度）がかかります。

文献を本学図書館に依頼してから、実際の文献が届くまで、3～10日程度かかります。

～相互貸借にかかる料金～

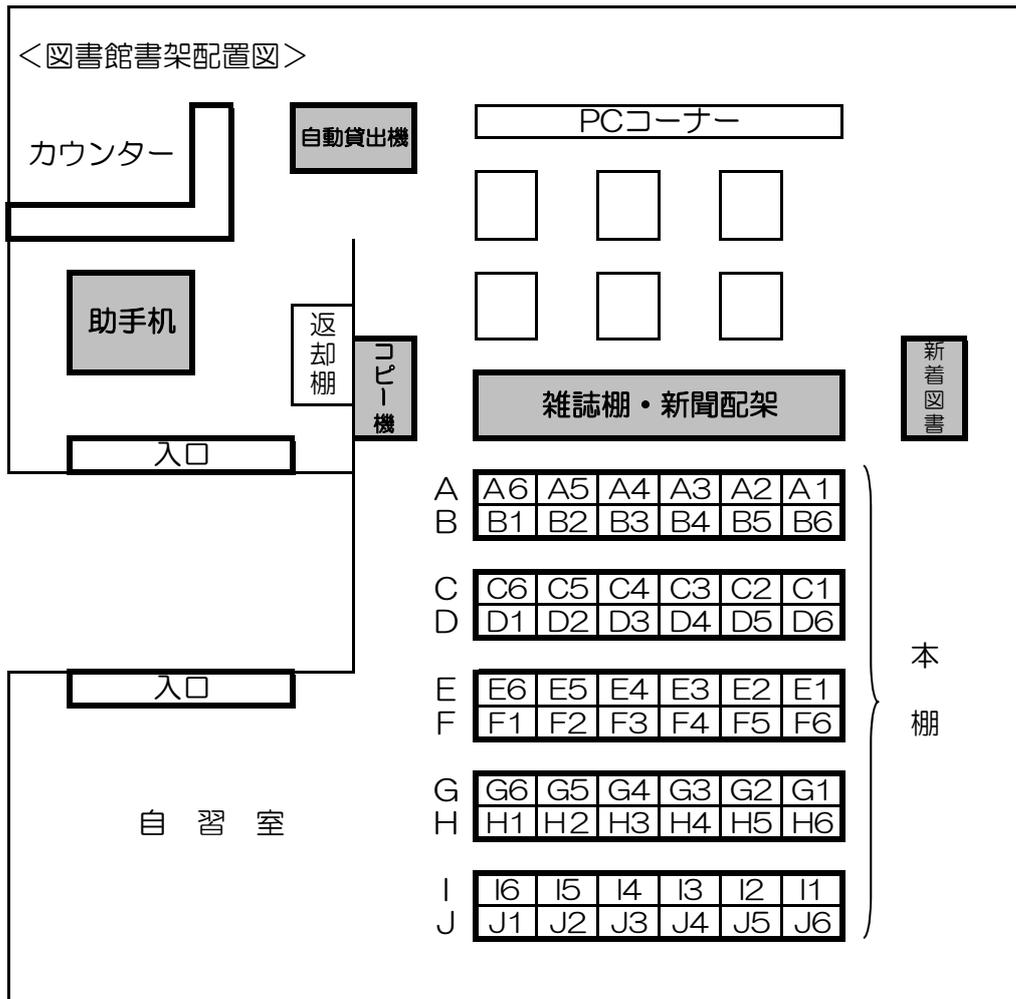
相互貸借は、本を郵送してもらい、郵送で返却するため、1,000～1,500円程度の往復送料が料金としてかかります。絶版や洋書は取寄せる必要がありますが、それ以外は中古図書等を購入した方が安く済む場合もあります。

※ 「レファレンス調査申請書」「文献複写・図書相互貸借申請書」は、図書館カウンターで随時受け付けていますし、メールでの申請や問い合わせも可能です。

e-mail : iigvolibrary@iigvo.ac.jp

(図書館 坂田まで)

図書館のレイアウトが変更になりました。主にグレー部分が変更になった箇所です。不明な点は図書館にてお問い合わせください。



お知らせ2

先生方による参考図書や推薦図書が入荷しました。入荷した順にバーコード等を貼って貸出可能な状態にしたものから、順次新着図書コーナーに配架します。ぜひ手にとって読んでみてください。

重要 ～自動貸出機の使い方が7月より変更になります～

今年7月頃、図書館システムの入替えがあります。それに伴い、自動貸出機での貸出方法が変更になります。変更時期等が確定した際には、ポスター等の掲示で告知します。また、貸出方法の説明を随時行うことを予定しています。

